

市民提案書（中間報告）
神余地区ハイキングコース整備
による滞留客の集客（継続）

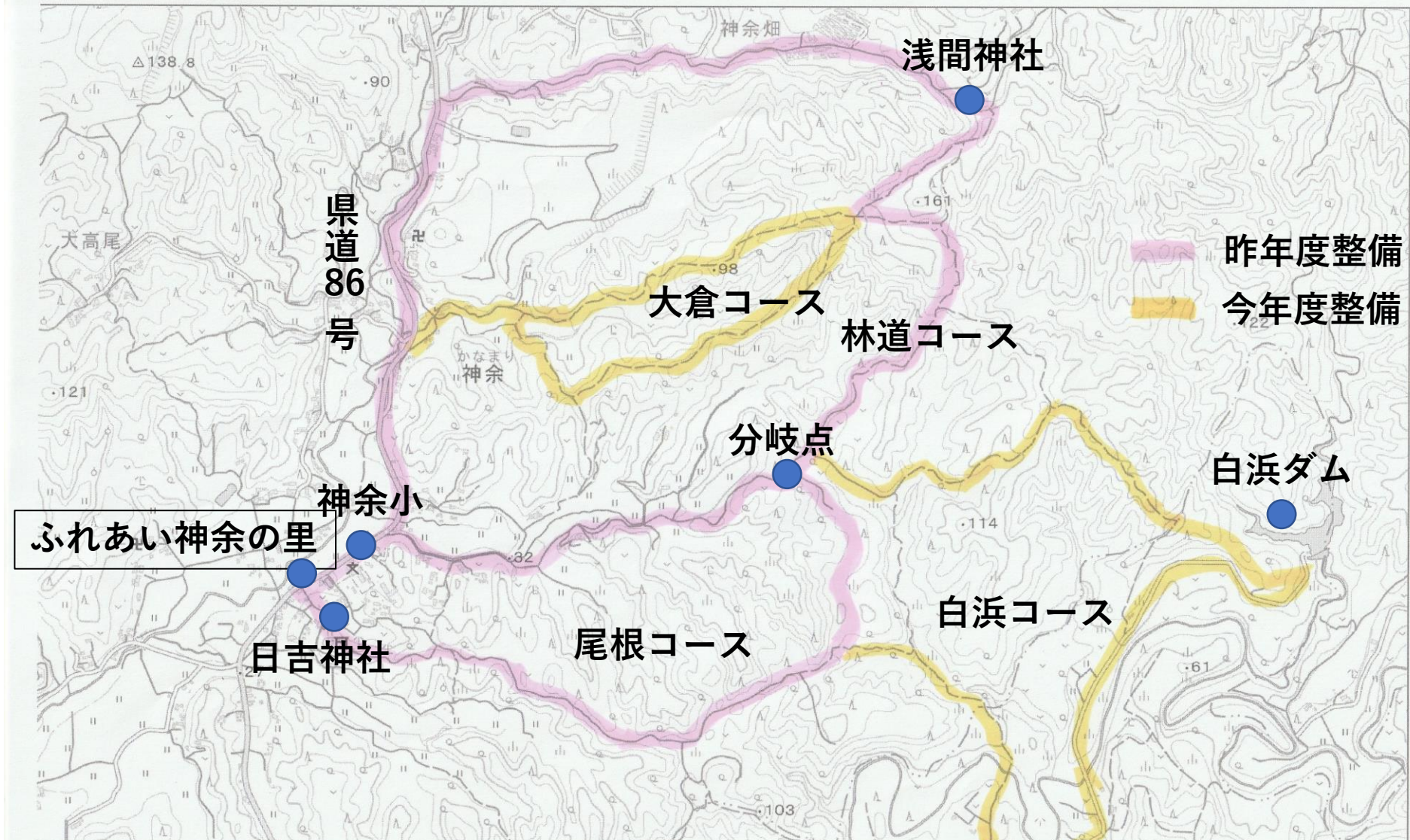
令和5年2月13日
神余の里を豊かにする会

今年度提案の活動

- コース整備の継続性の確立（整備面の定着化）
 - 整備活動の定例化（毎月第2土曜日）
 - 既存コースの継続的整備・ブラッシュアップ及び新規コースの開拓
 - 対象は次ページ参照
- 継続的なコース利用基盤の確立（利用面の定着化）
 - コースを利用する団体との連携強化（トレラン、フォトログ）
 - 他エリアの整備を行っている団体との連携確立
- 情報発信力の強化
 - ハイキングコースマップの更新
 - マップ配布場所の拡大

整備対象ハイキングコース

提案時資料から抜粋



昨年度整備・今年度継続

今年度整備

ふれあい神余の里

コース整備の継続性の確立（整備面の定着化）

- 計画通り、大倉北・南コース、白浜尾根・谷津コースの整備終了
 - 倒木伐採、草刈り、迂回路づくり
 - 案内板設置
- 毎月第二土曜日定例会8回含む延べ22回の活動実施
 - 定例会：4月9日、5月22日、6月19日、7月9日、9月8日、10月8日、11月12日、12月10日
 - 定例会は、毎回20名前後参加
 - 地元の人、市内の人、市外の人多種多様
 - 10数人は、ほぼ毎回参加のコアメンバー

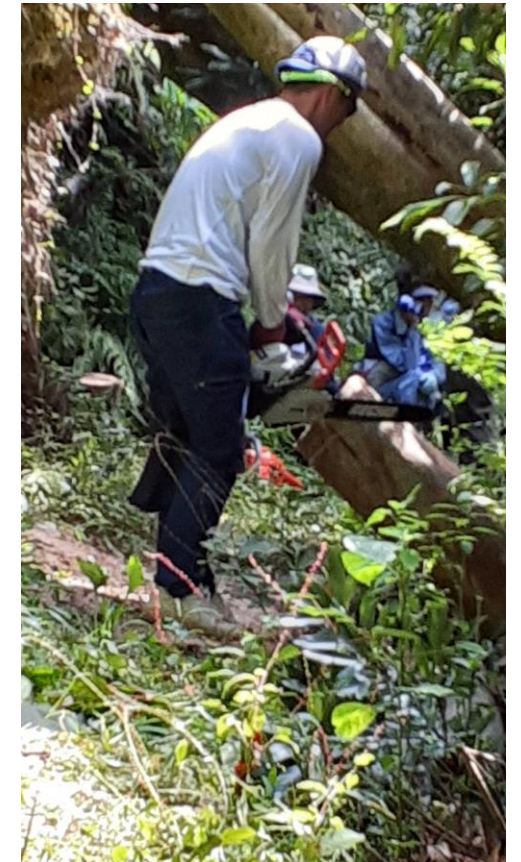
活動履歴

| | | | |
|--------|--------------|--------|----------------|
| 4月8日 | 案内板づくり | 11月3日 | 案内板づくり・白浜コース確認 |
| 4月9日 | 定例整備イベント | 11月12日 | 定例整備イベント |
| 4月17日 | 整備イベントadhoc | 12月1日 | 案内板づくり・白浜コース確認 |
| 5月8日 | 案内板取り付け準備 | 12月3日 | 白浜側案内板設置場所確認 |
| 5月22日 | 定例整備イベント | 12月7日 | 案内板づくり・大倉コース確認 |
| 5月26日 | 尾根コース草刈り | 12月10日 | 定例整備イベント |
| 6月19日 | 定例整備イベント | 12月22日 | コースガイド作成用山歩き |
| 6月24日 | 白浜コース確認 | 1月13日 | コースガイド作成用山歩き |
| 7月7日 | 案内板作成 | | |
| 7月9日 | 定例整備イベント | | |
| 8月8日 | 尾根コース林道コース確認 | | |
| 9月8日 | 定例整備イベント | | |
| 10月8日 | 定例整備イベント | | |
| 10月14日 | 案内板づくり | | |

以上 22回活動実施

コース整備作業風景その1

木を伐り、



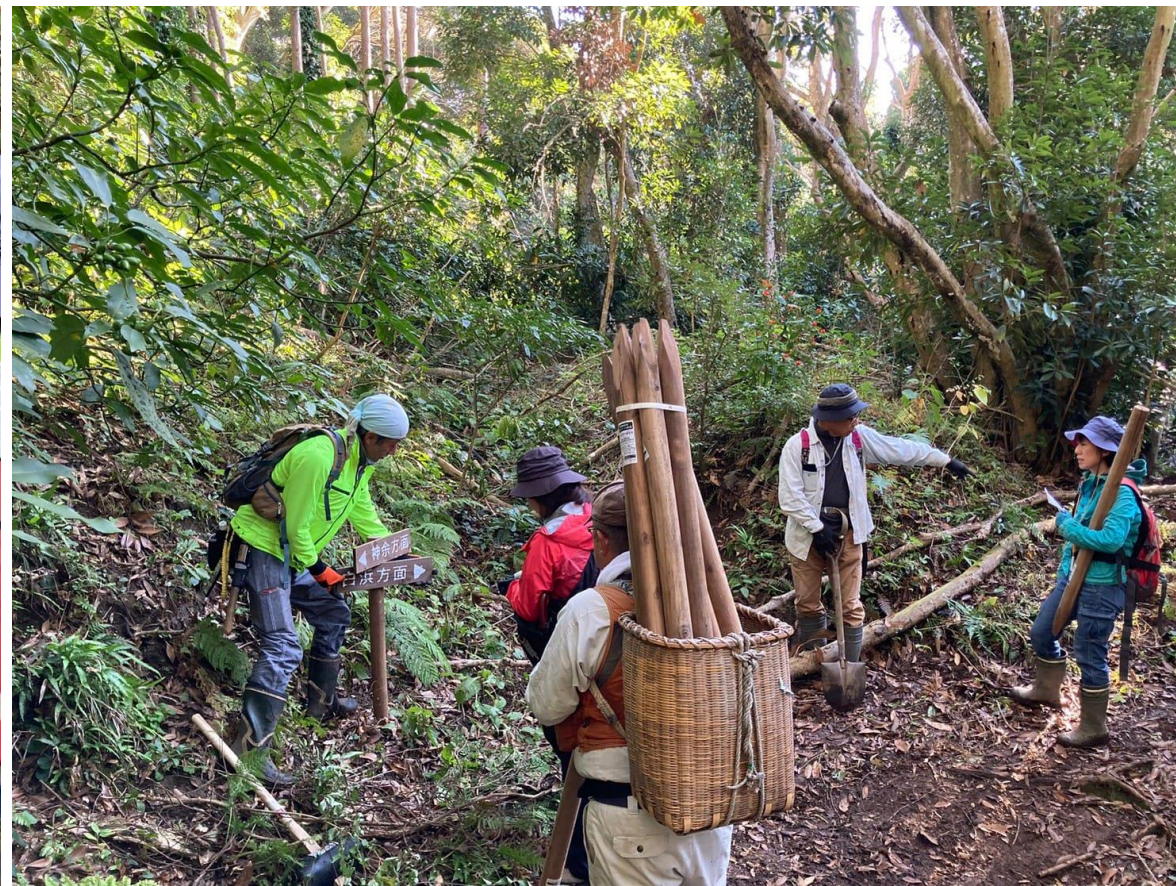
コース整備作業風景その2

階段を作り、橋を架け

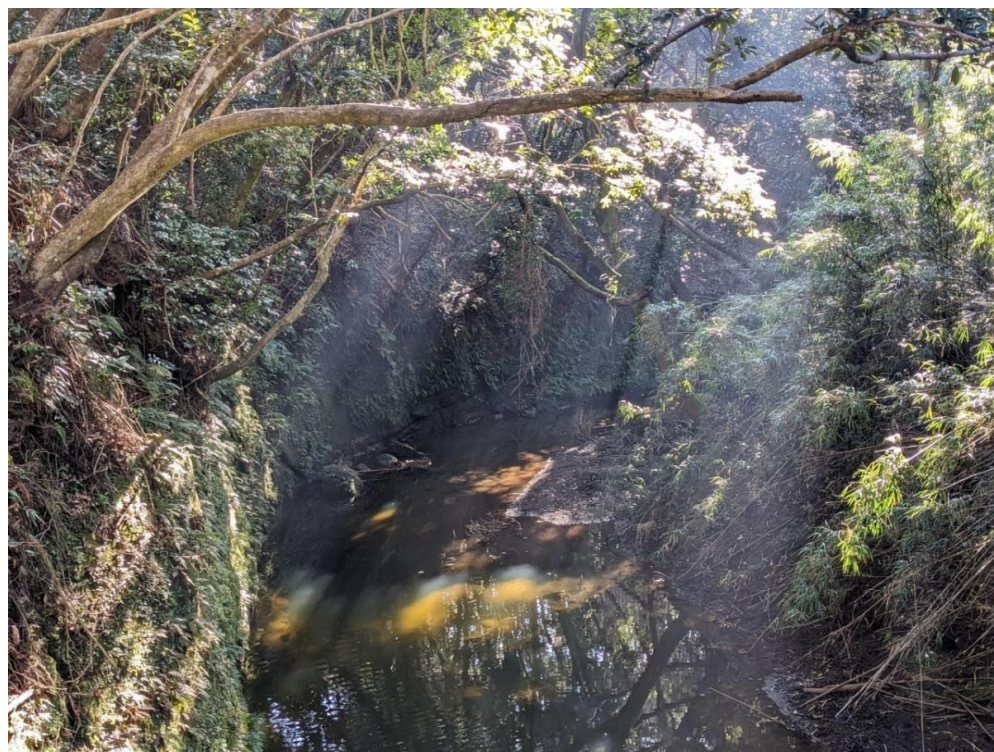


コース整備作業風景その3

案内板を設置し



コースからの素敵な風景



白浜谷津コースビューポイント

←大倉北コースビューポイント



白浜尾根コースビューポイント

継続的なコース利用基盤の確立（利用面の定着化）

- コース利用イベント実績
 - トレラン初心者向けコース紹介 (3月24日)
 - フォトリレー大会の開催 (4月20日)
 - 労金OBハイキング (12月14日)
 - 俳句の会ハイキング (1月21日)
 - 白浜きらりメンバーとの合同ハイキング (1月22日)
- 今後の予定
 - ヨガ教室とのコラボハイキング (2月23日予定)
 - フォトリレー大会開催 (4月23日予定)
 - また旅くらぶハイキングツアー (12月予定)

情報発信力の強化その1

- 新規コースを含めたマップ及びポスターの作製



情報発信力の強化その2

- 写真入りおすすすめコース案内の作成
- 房日新聞での紹介

2022年12月28日

房日新聞

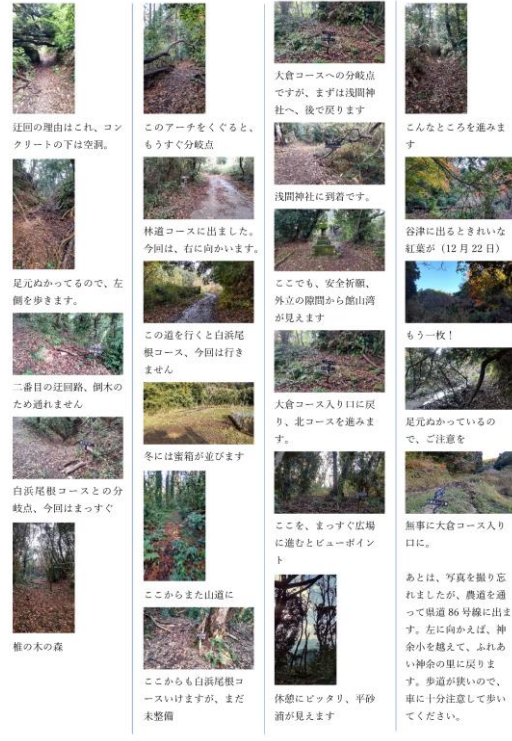
神余ハイキングコース モデルコースその1

1. コース：ふれあい神余の里～尾根コース～林道コース～大倉北コース～県道 86 号～ふれあい神余の里
2. 歩行距離：約 6.5 km
3. 所要時間：約 3 時間半（休憩含む）
4. コース概要：

ふれあい神余の里をスタートし、尾根コース、林道コース、大倉北コースを歩いて戻るコース、日吉神社の階段を上ったあと、アップダウンの少ない尾根伝いの道を難の森を抜ける風を楽しみながら進み、分岐点に出ます。ここを右に進み、林道コースを歩きます。林道コースは、尾根コースに比べると少しだけ登りがありますが、ゴールの浅間神社に向かいます。浅間神社前の木立の間から、館山市内と館山湾を望むことができます。少し林道コースを戻り、大倉北コースを進むとすぐ左手に、平砂淵を望むビューポイントの広場があります。あとは、竹林の間を抜けたりしながら、コースを下ると谷津に出ますので、谷津の景色を味わいながら、大倉コース入り口、ここでハイキングコースは終了ですが、そのまま進むと県道 86 号線に出ますので、左に曲がり、車に気を付けながら、ふれあい神余の里に戻ります。

5. 注意事項：

- ①大倉北コースの谷津あたりは足元がぬかっていることがありますので、防水の靴の利用をお勧めします。
- ②ふれあい神余の里に戻るとき、トイレがありますので、できるだけスタート前にお済ませください。



神余起点にハイキングコース

館山の市民団体 白浜までのルート整備

分岐点に設置された看板の横で川崎代表＝館山

館山市神余地区と南房総市白浜地区の山道をつなぐハイキングコースが開通した。館山市に段階的に整備してきた。マップを手に散策を楽しんで」と呼び掛けている。

同団体は、ハイキングコースの整備や利活用を通して神余地区の豊かな自然を知ってもらい、交流人口を拡大しようと、令和3年度に活動を開始。市の今年度「市民協働まちづくり支援事業」に選定されている。

毎月第2土曜日に倒木の撤去、草刈り、ピクニックの目印や分岐点に看板を設置するなど、会員21人やボランティアで汗を流してきた。

嶺岡牧文化遺産の持

今後の展開（持続可能な取り組みへ）

昨年同様、以下に取り組む

- 整備コースの活用の促進（他団体との共催による）
- コース整備の定例化（毎月第二土曜日に実施）
 - 既存コースの維持管理
 - 新ルートの整備
- ハイキングコースガイドとの連携による魅力向上

終わりに

- 里山保全は、市民活動としても、観光資源としても、獣害対策としても、有効であり、市の政策の一つとして継続的な活動支援をお願いしたい。以下、例示。
 - ハイキングコース整備に参加していただける方々が安心して参加できるよう、ボランティア保険など加入支援
 - ハイキングコースを利用する上での最大の課題はトイレであり、仮設トイレの設置などコース利用を促進する支援
 - 夏コース上にすずめばちの巣が発見され、事実上歩けない期間が発生した。整備したハイキングコースを市の貴重な財産として、駆除などの支援
 - ハイキングコースの活用を促進するための市のメディアの活用による積極的なアピール
- ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました！